



令和5年度

第13回 吹田市地域公共交通会議

千里山地区等乗合交通試験運行の実績報告

(令和4年2月の運行開始～令和5年12月末)

吹田市

1. 試験運行バス利用者の状況について



● 調査概要

実施時期	試験運行バスの運行期間(令和4年2月～ 2年間を予定) ⇒令和4年2月17日に、たけのこルート(千里山地区)試験運行開始
調査対象	期間中全便
調査手法	試験運行バス・ドライバーによる各停留所の乗降者人数の記録
調査内容	毎日毎便の各停留所における乗降者人数の整理等



写真. 運行開始日の様子



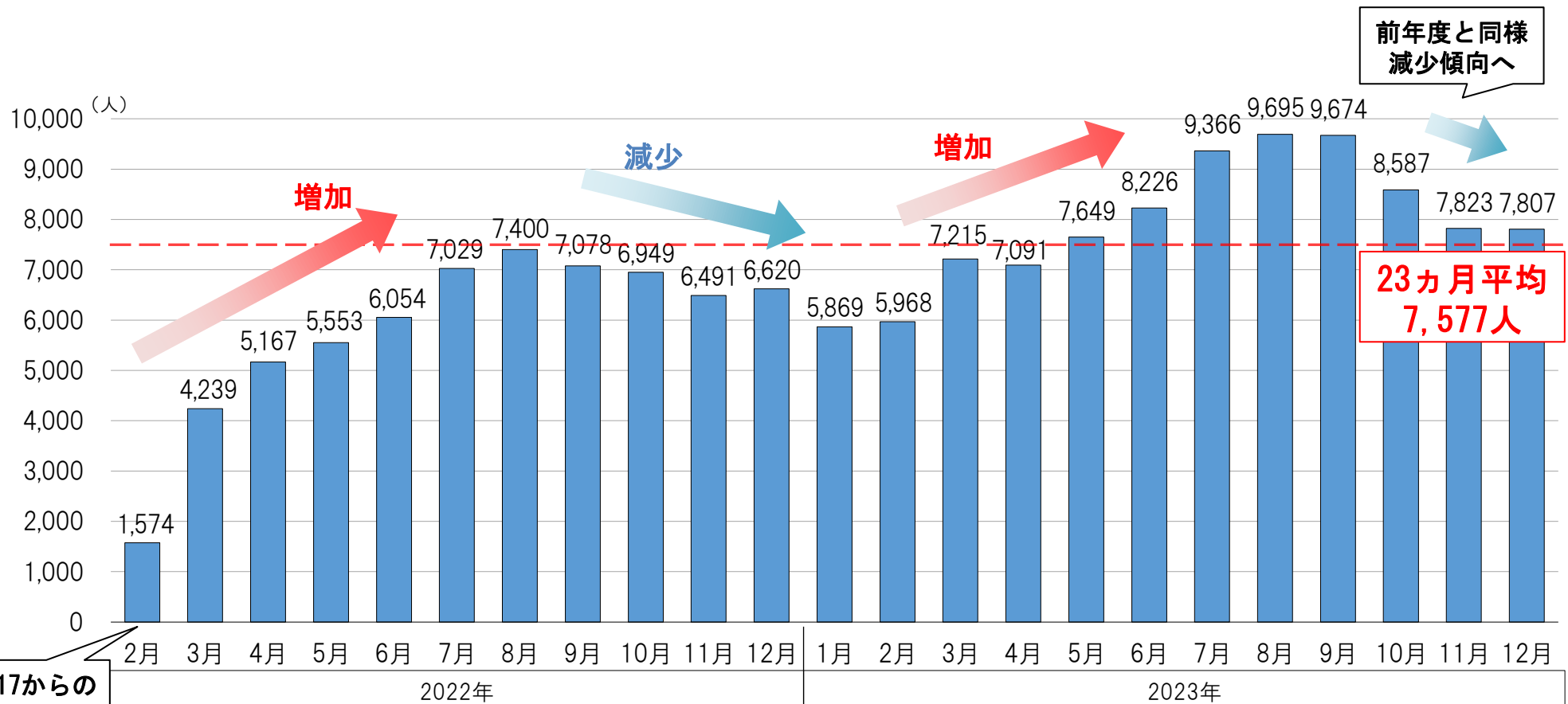
写真. 沿線道路の様子(4月)

今回は、令和4年2月の運行開始～令和5年12月末までの利用状況についてを報告

①月別利用状況について



- 2023年12月末までの乗車人数は延べ159,124人。
- 前年度の2022年8月を抜いて、2023年8月が9,695人で過去最高の乗車人員。
- 前年度の乗車傾向と同様、8月をピークに減少傾向となっている。



※2023年8月15日(火)は台風接近の影響により第4便以降が運休

図. 月別乗車人数の推移

②便別・曜日別利用状況について



- 便別では、第3便が平均乗車人数27.7人と最も多く、試行運転開始後、第3便の利用が常に多い状況となっている。
- 乗車は、第3便を中心にその前後で利用が多く、午後から徐々に減少していき、最終の第11便が平均13.5人と最も少なくなっている。
- 曜日別では、金曜日が23.9人/便と最も多く、日曜日が17.2人/便と少ない。

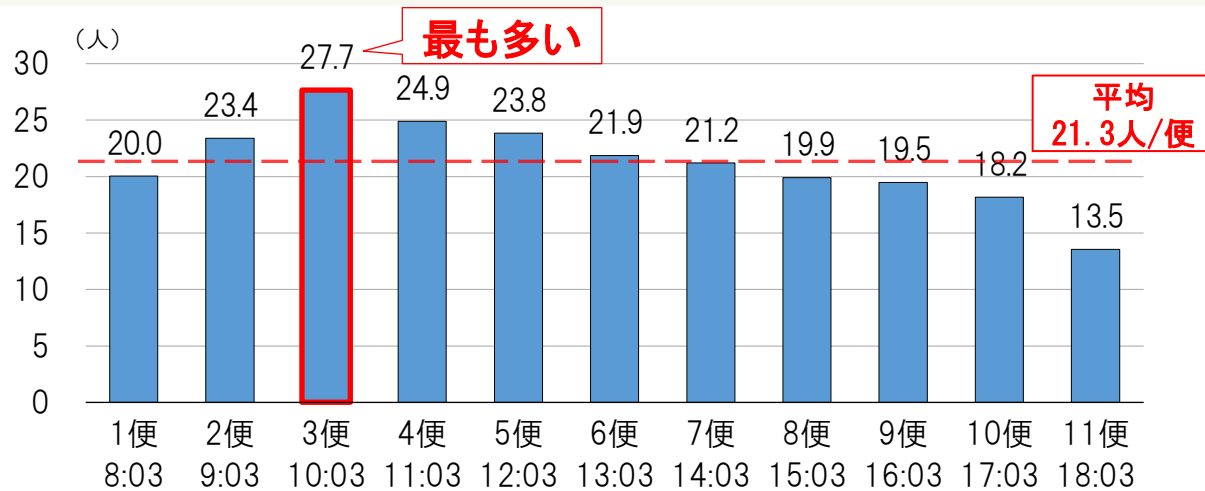
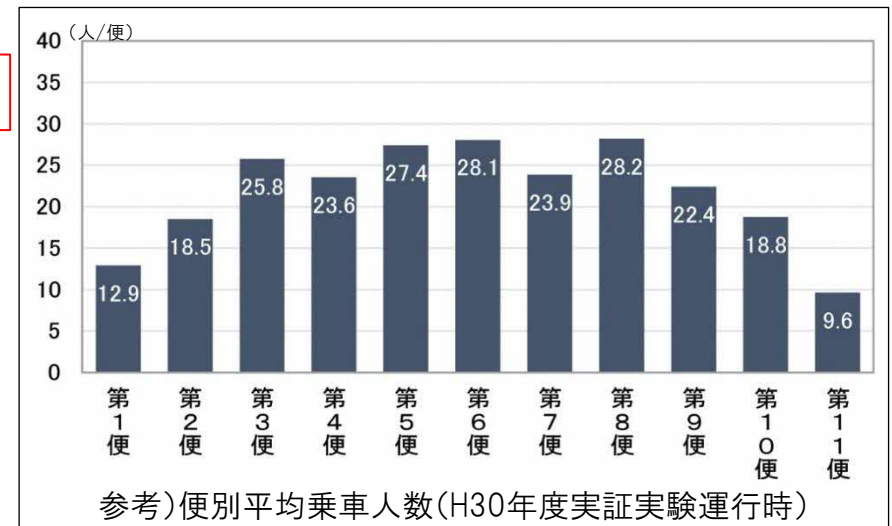


図. 便別平均乗車人数(運行期間 平均)



参考)便別平均乗車人数(H30年度実証実験運行時)

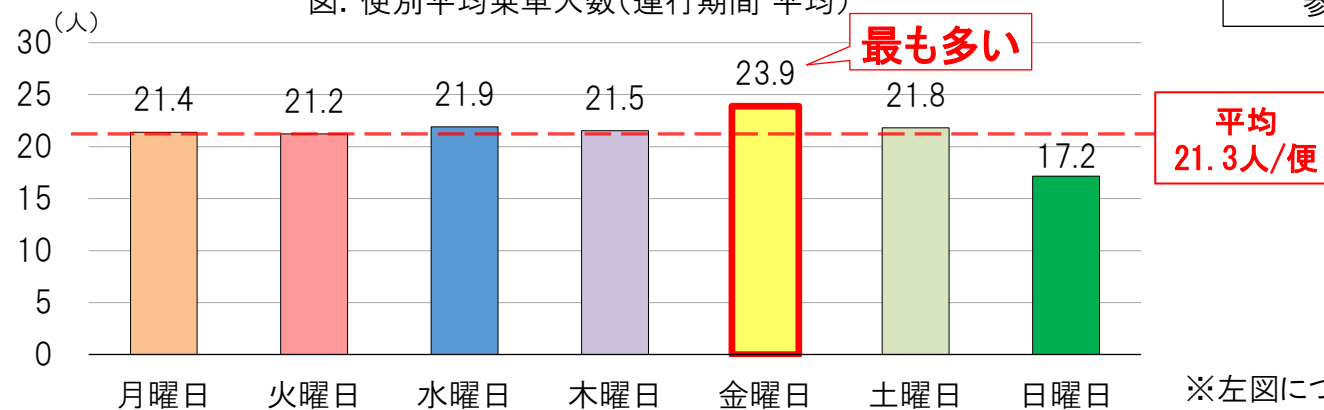


図. 曜日別1便あたりの乗車人数(運行期間 平均)

※左図について、2023年8月15日(火)(台風接近の影響により第4便以降運休)は考慮せず算出

③平日休日別利用状況について



- 1便あたりの平均乗車人数では、平日22人/便、休日19人/便の利用状況である。
- 平日と休日(土日祝)別でみると、平日・休日ともに第3便の平均乗車人数が最も多くなっている。
- 平日は、休日に比べ午前中の便から利用が多い。
- 第3便～第7便は平日・休日ほぼ同じ乗車人数となっている。
- 平成30年度の実証実験運行時に比べ平日の利用が多く、日常での利用が浸透してきていると思われる。

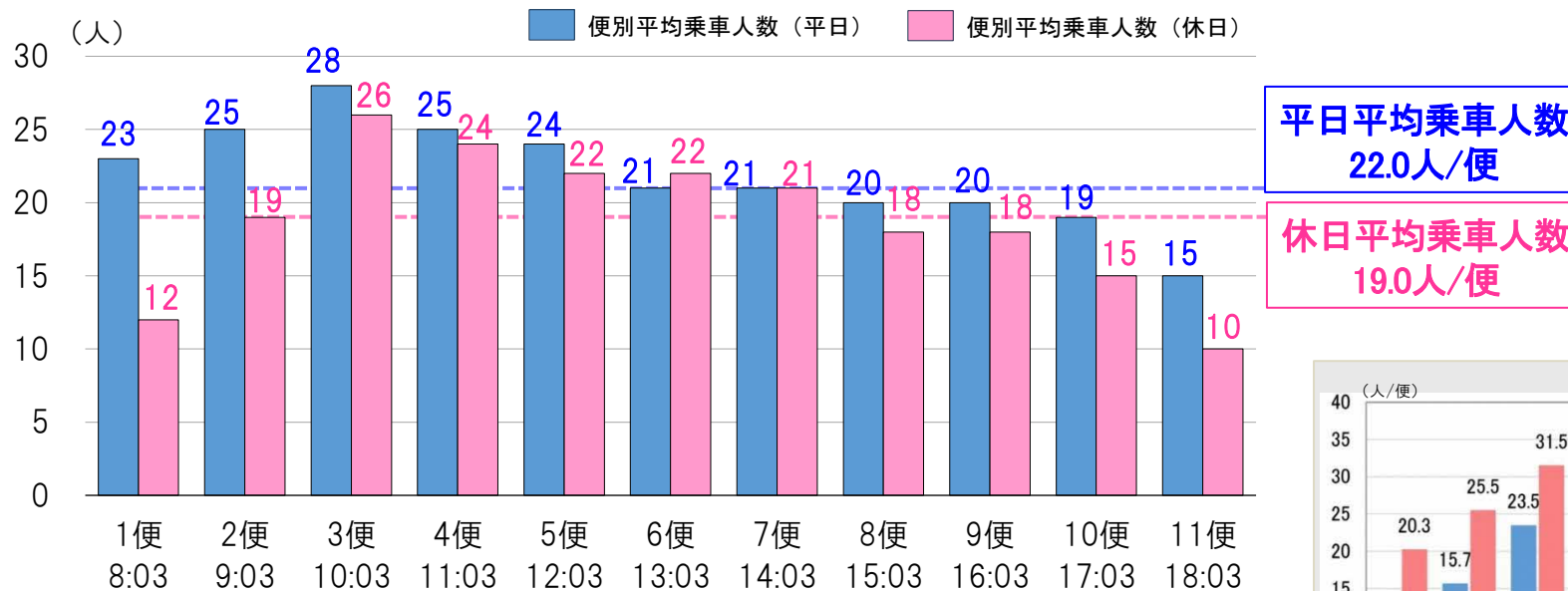
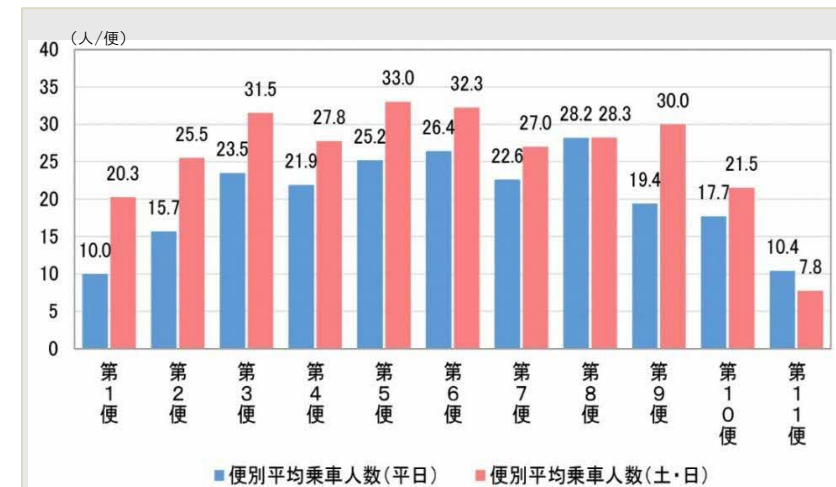


図. 平日休日別便別平均乗車人数(運行期間 平均)

※左図について、2023年8月15日(火)(台風接近の影響により第4便以降運休)は考慮せず算出



参考) 平日休日別便別平均乗車人数(H30年度実証実験運行時)

④ 停留所別利用状況について

- 鉄道との乗換えが可能なバス停留所(阪急千里山駅や阪急南千里駅、緑地公園駅東口や緑地公園駅西口)で利用が多く、阪急南千里駅バス停留所の利用が最も多くなっている。
- 鉄道との乗換え可能なバス停以外では、「千里山西6丁目」の利用が多くなっている。
- 停留所により乗降の傾向は様々あるが、「緑地公園東口」は乗車人数に比べ降車人数が特に多い。

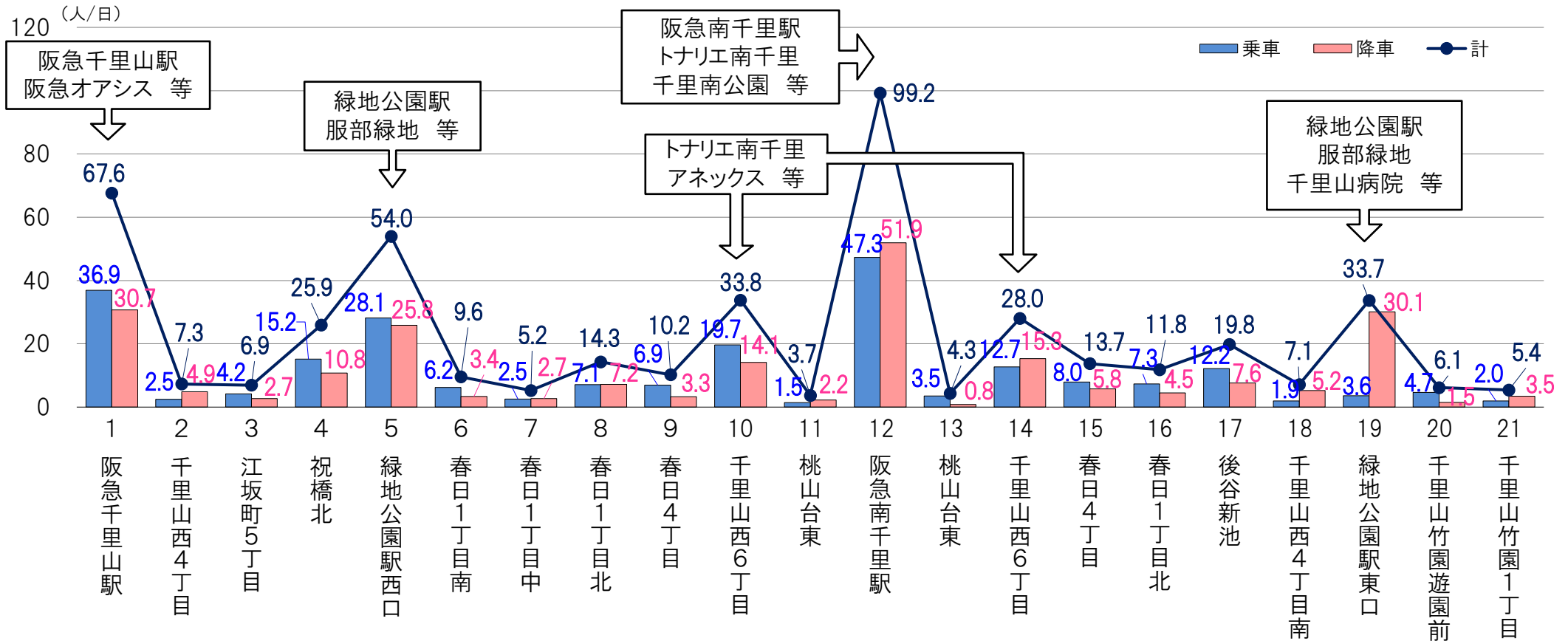


図. 停留所別1日あたりの平均乗降客数(運行期間 平均)